

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年01月30日

計画の名称	水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（IV期）												
計画の期間	令和05年度～令和07年度（3年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	広島市												
計画の目標	<p>広島市は、水と緑が輝くうおいのある国際平和文化都市の実現を目指し、豊かで美しい自然環境を生かしつつ、安全、快適で美しい都市景観を有する質の高い都市環境の創造に取り組んでいる。</p> <p>近年の地球温暖化やヒートアイランド現象等の環境問題への対応及び災害時における避難場所として公園緑地が大きな役割を果たすことが期待されており、都市における公園・緑地の更なる整備を進める。</p> <p>また、平和記念公園においては、市民はもとより多くの来訪者があることから、来園者の安全と利便性の向上に資する整備を推進することで安全で快適な都市環境の形成を図る。</p> <p>絵下山公園においては、地域の特性や市民のニーズに応じたストック再編を進めていくことで緑に親しむことができる環境づくりに取り組む。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	238	A	238	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R7末
1	都市における水と緑の公的空間である都市公園面積をR5年度からR9年度までに一人当たり0.03㎡増加させる。 市民一人当たりの都市公園面積 (市民一人当たりの都市公園面積) = (市内の都市公園面積) / (広島市の都市計画区域の人口)	791㎡/百人	㎡/百人	794㎡/百人
2	平和記念公園における改良が必要な舗装の整備率を増加させる。 計画期間内に必要な舗装改良を実施した面積の割合 (舗装改良を実施した面積の割合) = (舗装改良を実施した面積) / (舗装改良が必要な面積)	0%	%	100%
3	広島市市民意識調査において、「あなたは、広島市が緑豊かなまちであると実感していますか」に対し、「実感している」、「ある程度実感している」と回答した割合を増加させる。 広島市市民意識調査において、「あなたは広島市が緑豊かなまちであると実感していますか」に対し、「実感している」、「ある程度実感している」と回答した割合を増加させる。 (「実感している」、「ある程度実感している」と回答した人数) / (調査回答人数)	68%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	40	24			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	40	24			
前年度からの繰越額 (d)	0	34			
支払済額 (e)	6	37			
翌年度繰越額 (f)	34	21			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（IV期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面) 都市公園・緑地等事業

計画の名称	水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進 (IV期)		
計画の期間	令和5年度 ~ 令和7年度 (3年間)	交付対象	広島市

